〈核兵器廃絶を求める１０００万署名〉

国際連合　事務総長　様

日本国　内閣総理大臣　様

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち被爆国民の心からの叫びです。

しかし核兵器は未だに世界に約２万１千発も存在し、核兵器の脅威から、今なお人類は解放されていません。2000年の核拡散防止条約（NPT）再検討会議では、全面的な核兵器廃絶を約束したはずが、2005年の同会議では合意がなされず、核軍縮はもとより核不拡散体制そのものが危機的状況に直面しています。核保有５カ国に加え、NPT未加盟のインド、パキスタン、イスラエルの核兵器保有、核兵器開発に繋がるウランを濃縮・拡大するイラン、核実験した北朝鮮の動向などは核不拡散体制を大きく揺るがしています。

ヒロシマ、ナガサキの市長を先頭とする平和市長会議も、2020年に核兵器の全廃をめざす「2020ビジョン」の実現に向けて取り組みを開始しています。

私たちは、核兵器廃絶と恒久平和をめざして日本政府と国連に対して次のことを要請します。

〇2010年ＮＰＴ再検討会議で、2000年合意を再確認し、核兵器廃絶の道筋を合意すること。

〇2020年までに世界中のあらゆる核兵器の廃絶を実現すること。

名　　前	住　　所

※署名は、目的以外に使用することはありません。

年　　月　　日

〈呼びかけ団体〉

日本労働組合総連合会（連合）
原水爆禁止日本国民会議（原水禁）
核兵器禁止平和建設国民会議（核禁会議）

〈取り扱い団体〉

この署名は、連合が加盟している国際労働組合総連合「ITUC」を通して全世界で展開しています。

http://www.jtuc-rengo.or.jp/　連合のＨＰ「核兵器廃絶1000万署名」のｺｰﾅｰから署名用紙がﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞできます。